

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和8年2月2日(月)

【愛語録】

「失敗しないことをいつも最優先に考えて行動していくと、無意識のうちに徐々に失敗していくともいえる。」

佐々木 直彦（コンサルタント）氏の言葉

独り言

最近思う。仕事を
するにあたり、自分
は何を求めているの
か？ 最近その答え
が見え始めたような
気がする。私はこれ
までの仕事で、功績
を残すことについて
ような気がするのだ。
しかし、定年退職
後、功績は名誉で
して残るかもしれない
が、それは自己満足
でしかないように
思う。現に、私は今
教子達との繋がりが
楽しく、心地良くて
仕方がない。さ、
仕事で何を求める
か？ 私はこう思う。
「残すのは功績では
なく、人である。」
人が理念や伝統を
引き継いでいくと考
えれば、知識を詰め
込むだけでなく、物
事に対する考え方を
教えることと共有し、
共に成長していく教
師、人であらう。
私自身が未熟である
からこそ、そう強く
思う。辛いことが幾
らでもあるのは浮世
の常だ。逃げずに向
き合い、後悔しない
ようにしたい。

学習面と中学入試および高校入試

今から書くことは、中学校に入ってから困るようになっていくための学習面と身に付けておきたい最低限のことです。数年前、知り合いの中学校の先生方に聞いたことなので、即効性があり、中学校での学習についていくために必要なことだと思われます。また、入学直後に実施される実力テストにも効果が期待できます。これから取り組みの成果が上がると思います。やる気のある方は低学年でもOKです。

①小学校での漢字を覚えてマスターしよう

これは1つの漢字について語彙、訓読みはもちろん、それぞれの読みを使った熟語の意味や、小学漢字辞典に載っているものについては、できるだけマスターして欲しいというわけです。語彙力アップも。

②算数の公式と計算力を覚えて理解しよう

冗談ではなく、全国的にみて「かけ算九九」を暗唱できない6年生は多いようです。あわせて公式もです。公式は学校で指導する場合、子ども達自身も公式を導き出すという方法で学習しています。学習した直後は「なるほど」「なるほど」なすが、すぐにそれを忘れ、単なる暗記になってしまします。意味をしっかりと理解しておくことが重要です。

③日本の47都道府県の名前、位置を覚えてみよう

これは名前を「読み」ではなく「書き」で覚えることが必要です。漢字で書けるようになっておくことが、また、県所在地も漢字で書けるようになっておくことが、また、小学校の社会の教科書に出てきた世界の国々については、国名(正式名称)、首都、位置は覚えておくべきです。

④小学校で6年生で習った社会の図表の暗記

何故かという、内容を暗記しておけば、入学直後の実力テストでは即効性が期待できるからです。また、小学校で学習した内容を、更に深化するあたりに中学校の社会科の学習が進んでいきます。地理、歴史、公民という分野に細分化され、詳しく学習していくことになるのです。基礎となる知識を身に付けておけば、中学校での学習の成果は変わります。学習したことはすべて覚えていて欲しいのですが、子ども達にしてみれば、なかなかそう思うようにはいかないですね。しかし、後で苦労する方が目に見えていますので、右にあげたものに關しては、これらの限りの、中学校の入学式までにマスターしておいて欲しいと思います。

シリーズ「自分を語る」#72

さて、3年生にどんな活動させようか。私は頭を抱えました。それまで高学年の担任しか経験がなく、登壇経験に合った活動…思考がメインなスバイバルに陥りました。そこで私はいつもの通り、関心のある「これ」まで進み、歩いていく」との結論に至り、「強歩会」の実施を決めます。その前に上手い人はいませんが、色んな疑問が湧き上がりました。疑問を5月までには解決し、先ずは子ども達の理解を得なければならぬ。その後、保護者の理解を得て協力体制を創ることも重要でした。予想はしていたものの保護者の皆様からは多くの問い合わせがありました。5月、玉名町小学校時代にその経験はしていましたが、理解を得るために必要な時間はかかりませんでした。結局、3年生の登壇段階から判断して、歩く距離は1700メートル、午前中に歩くことにしました。本番までに時間がありますが、やる気は高まりました。それを子ども達主体で取り組ませました。これによって結構時間がかかりました。でもこれをさせることによって、主体性が増します。班編成、仕事分担、その他多くのことを子ども達主体で活動しました。当然、担任としても指導はしますが、どちらかというとアドバイザー的な役割に徹しました。そして、子ども達は「強歩会」の成功に向けて必要な取組「朝のランニング10分」もスタートしました。いよいよ何かやって3年生生集回として、私も担任として「いじめ」を思い出しました。

いよいよ夏休みです。楽しみにしていた夏休みでしたが、3年生の集団にとっては違った意味での楽しみがありました。強歩会「この響きに子ども達も酔いしれていました。単なる「強歩会」ではなく「俺たちの強歩会」「強歩会の澤田組」というイメージです。言葉は悪いですが少々排他的な雰囲気を感じていました。それにも40名弱の集団が同じベクトルで活動している、心地よさを感じていました。

実施当日、1700メートルに負けないバスで移動し、そこから伊倉小学校を目指して歩きます。当日もそれまでの教子達が手伝いに来てくれました。O.R. O.G.達も、3年生の子ども達からなる班に、よく合わせて歩いてくれました。スタートしてから何回も問題なく順調に歩いていたが、先頭でゴールした子ども達は鬼ごっこをして遊んでいる様子、余裕のあるゴールでした。子ども達は私達が考えている以上に体力があったのです。これではいかんと思い、来年度への構想を練り始める私澤田でした。そう簡単に4年生に持ち上がる訳はない、まだまだ遠い道のりだ。 (つづく)